

令和5年度第1回
 泉大津市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進委員会
 (会議録要旨)

開催日時	令和5年5月19日(金) 午後1時30分～午後3時15分	
開催場所	総合福祉センター 3階 第1会議室	
出席者委員	川井委員長、各務委員、高寺委員、檀委員 藤原委員、藤井委員、木下委員、喜多委員	
欠席者	上東委員、鈴木委員	
事務局	保険福祉部長	松下 良
	高齢介護課長	吉野 久絵
	高齢介護課長補佐	法橋 広幸
	高齢介護課長寿推進係長	寺岡 早苗
	高齢介護給付保険料係員	四宮 颯
	地域包括支援センター所長	寺田 和夫
	地域包括支援センター	浅原 豊
案件	(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、在宅介護実態調査結果報告について (2) 事業所アンケート案について説明 (3) 事業計画策定スケジュールについて	
資料	資料1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査・在宅介護実態調査結果報告について 資料2 事業所アンケート(案)について 資料3 事業計画策定スケジュールについて	

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>定刻となりましたので、ただいまから第1回泉大津市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進委員会を開催いたします。</p> <p>なお、本会議は公開となっております。本日傍聴者の方はおられません。まず資料の確認をさせていただきます。</p> <p>本日の会議を進める前に推進委員会設置要綱第5条第2項の規定により、出席委員は8名ですので、本委員会の会議は成立いたしますことをまずご報告させていただきます。</p> <p>それではこれより審議に移らせていただきます。設置要綱第6条第1項の委員長は議長となる、の規定に基づき以下の事案について議長と代わります。議長、よろしくお願いいたします。</p>
委員長	<p>それでは進めさせていただきたいと思います。まず本日の会議につきましては傍聴の方がいらっしゃらないということですので、本日はこのまま進めてまいりたいと思います。</p> <p>それでは案件に入ってまいります。案件（1）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、在宅介護実態調査結果報告について事務局のほうから説明をお願いします。</p> <p>案件（1）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、在宅介護実態調査結果報告について報告</p>
委員長	<p>分かりやすくまとめていただきまして、前回との比較もすることができました。</p> <p>膨大な量ですが、ただいまのご説明の中でご質問、ご意見等がございましたらご発言お願いいたします。感想、ご意見等でもよろしいのですが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>意見です。55ページのところで交際関係の調査等があったかと思いますが、やっぱり参加されていない方が多いということで、認知症の進行を遅らせたり予防のニーズが高いというデータも他に出ていたと思います。運動をすることとはすごく大事だと思いますが、前年度の調査でアプリの健康ポイントについての話があったような気がします。今回の調査で高齢者の方でもスマホを持たれているというデータもありますので、その辺を踏まえてもし何か考えていること、検討されていることがあれば教えていただきたいのですが。</p>
委員長	<p>コロナで活動が減ったというのが大きな影響かもしれませんが、今おっしゃってくださったようにアプリを使ってというようなことも何か今、やっている</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>ようなことがあれば、お話をお願いします。</p> <p>「おおさか健活マイレージ アスマイル」という大阪府のアプリを市でも活用させていただいております、それに参加するとポイントがもらえて、それが電子マネーに代わるという市の独自の事業をさせていただいているところです。</p> <p>健康アプリということなので、健康づくり課と庁内の各課協働してやっていますが、当然高齢介護課の方でも運動講座といったものをアプリのポイントがもらえる対象事業にしている、参加すると1回 50 ポイント、50 円もらえるとといった感じです。たまと楽しいということもありますので、そういったかたちでのPRをしています。</p> <p>ただ去年からやり始めたところで、まだまだPR不足は否めません。そこも踏まえて今後PRはしていきたいと思っています。</p>
委員長	<p>ではこれからですね。他にいかがでしょうか。</p> <p>ご質問等もないようですので。拝見しましたら口腔機能のところでは、ここ半年ぐらいの間に硬いものが食べにくくなったという人が増えているとか、転倒の経験があって出掛けることに不安があるという答えが増えているような気がします。</p> <p>コロナ禍だった事情等も踏まえ、これからは活動が再開されていていきますから、その辺りを充実させていかなければならないのかなと思っています。その他、何かありましたらどうぞ。</p>
委員	<p>8 ページの主な介護者における「介護サービスのヘルパー」について、令和2年が 48.2%、今回の調査で 35.3%ということで 12.9 ポイント減少しています。今回はコロナを経験した後の数字だと思いますが、これだけ減って、実際その方はどなたかのヘルプを受けるかたちになっているのでしょうか。事業所が復活されているのか、何か代わりに担っているのでしょうか。</p>
委員長	<p>この辺りいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>話は一瞬逸れますが、コロナ禍の間に、デイサービスに関しては通うことを控えたりしたということがありましたので、供給量が下がったという話はよく聞きます。アンケート結果が思ったよりも下がってるので、正直ヘルパーサービスに関してはこれだけ下がっている要因を突き止めることはできていません。12.9%も下がるというのは、アンケートの媒体数から言うと検証していく必要があるのかなとは思っています。減少した部分は、無回答が3ポイント上</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員	<p>がったり、配偶者や娘さんといった方が上がってきているので、そういったところで対応されているのかなど。グラフ上からはそれは読み取ることはできませんが、具体的な回答にはなっておらず申し訳ありませんが、その辺は検証していかなければならないと思っています。</p> <p>その分、サービスが新たにできたわけではなくて、家族の方で支えているという現状かなと思います。</p>
委員長	<p>何か情報が得られる場があったら、使ったけれども知らなかったのも使えなかったのか、それとも別にやってくれる方がいたから使わなくなったのか、その辺りもう少し情報を通して具体的なものが見えてくるといいのかなということだと思います。</p>
事務局	<p>8 ページの主な介護者については、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査における主な介護者になりまして、対象が要支援1と2の方に限られます。一般高齢者の方は関係がなくなります。また後半の在宅介護実態調査については要介護の方が対象で受けている介護の状況が違うといったところがあるかなと思います。</p> <p>ですので、ホームヘルパーを呼ぶまでもないというか、そういったかたちでもあったのかなというふうに理解しています。恐らくコロナ禍で利用控えが起こっていたケースもあったかと思っています。</p>
委員長	<p>そういう感想もあるんですが、実態としてもし分かれば情報を集めていただけたらと思います。</p> <p>では次の案件に進みたいと思いますが、よろしいでしょうか。案件（2）事業所アンケート案について事務局から説明をお願いします。</p> <p>案件（2）事業所アンケート案について説明</p>
委員長	<p>ただいまのサービス事業所アンケート案についてご意見いただきたいと思えます。</p> <p>今お伺いしたばかりの新鮮なところから。ケアマネジャーに関する調査のところ、最後の30ページのところ。困難事例はありましたかという質問がありますが、これは前回と同じですか。</p>
事務局	<p>そのとおりです。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員長	私だったら困難事例ありましたかと聞かれても、困難事例の捉え方がいろいろですね。どこまでどんなことを困難事例と言うのかと。それが次の質問につながってきますので、具体的に例を出したほうがいいのか。委員の皆さまいかがでしょうか。
委員	ケアマネジャーの困難事例といっても幅が広いので、迷うところだったのではないかと思います。オープンクエスチョンでいったほうがいいのか、迷うところかなと私も思います。
委員長	地域包括支援センターに相談しますかとありますが、内容によって地域包括に相談するような話ではないこともありますよね。
委員	そうです。
委員長	アンケートで聞いたはいいが、そのことをうまく活かすことができるのかと思いましたがお尋ねしました。少し考えたいと思います。皆さん、他にいかがでしょうか。
事務局	先ほど委員長がおっしゃった通り、ケアマネさんの事業所の人数だとかケアマネさんの経験やスキルによって困難事例の捉え方はいろいろあると思います。先ほど委員がおっしゃった通りなかなか例を挙げるとなっても、あるケアマネさんにとっては困難事例であっても、他のケアマネさんはこれまでの経験上普通に行っていることだということもあります。ケアマネさんも保健師出身だったり、社会福祉士だったりいろいろなバックボーンがありますので、得意分野や不得意分野が人によって違う可能性もあります。例を入れるというのは今の感じでいくといろいろなパターンで工夫しなければならないと思いますので、その点は検討させていただきたいと思います。検討の結果、難しいという判断になった場合は、このままにさせていただくこともあり得るだろうと考えています。
委員長	<p>前回もこれで採ったとおっしゃっていますので、その時の答えで困りましたとかご質問やご意見が上がってきていないのであればこのままいかれたらいいとは思いますが、他にいかがでしょうか。</p> <p>10ページにスタッフを全員書いていただくのもかなりお手間をかけご協力をいただくようになるのですが、答えにくいといったことはありませんか。</p> <p>特に今のところはないようですので。まだ、ご意見出す時間はありますか。早急に調査をしないといけないんだと思うんですが、どうでしょうか。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>8月上旬ぐらいに開催させていただく会議の際に今回のアンケート結果の概要をまとめなければならないという期限がございますので、そこから逆算すると来週中ぐらいまでに意見をいただければ、中で協議させていただいて、反映できる部分は反映させていただければと思います。</p>
委員長	<p>今、事務局からご説明いただきましたので、来週ぐらいまでならということですから、どうぞご意見ありましたらお寄せいただければと思います。あとは事務局に調整でお任せいたしますので、可能な範囲で修正させていただくことでお願いいたします。</p> <p>ではよろしいでしょうか。次に進ませていただきます。3番目、事業計画策定スケジュールについて事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>A4横の資料3、計画策定スケジュールをご覧ください。今後の予定については令和5年度の策定委員会の開催については本日第1回の委員会を含め計5回開催を予定しています。第2回に関しては8月を予定しており、2回目は地域包括支援センターの運営、地域密着型サービス、現行の第8期計画の達成状況、事業所アンケート結果の概要報告、第9期の計画構成案について、第3回については10月を予定しています。計画素案について審議いただければと思います。また第4回については12月を予定しています。保険料の見直しパブリックコメントの実施についてご審議いただきます。最終回の第5回目は令和6年3月を予定しています。パブリックコメントの結果報告、地域包括支援センター評価運営計画、計画原案についてそれぞれご審議いただく予定になっていますので、よろしくお願いたします。</p>
委員長	<p>ただいまスケジュールについて事務局からご説明いただきました。これにつきまして何かご質問ございますか。では質問はないようですので、このスケジュールということでよろしくお願いたします。</p> <p>では次に、その他でございますが、今日お集まりいただきました皆さまの中で今までのお話で言っていなかったこととかがあればそれでも構いませんし、それ以外のお話でも構いません。何かありましたら一言ずついただけたらと思います。委員の皆さま、いかがですか。</p>
委員	<p>今日、初めて会議に参加させていただきまして、かなり緊張して分からないまま出たのですが、アンケート結果から見えてくる面もケアプランの中で家族がこんな不安を日常的に感じているんだと。ケアマネのプランニングとずれを感じる面もありました。またケアマネ連絡会に持ち帰ってその辺も精査させて</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
	もらいたいと思っております。ありがとうございます。
委員長	ありがとうございます。
委員	私は介護者家族の会という名前を頂戴していろいろ進めてまいっているんですが、今日勉強している中で、本当にわれわれが言いたいこと、介護者家族の会と目線が同じということによかったかなと。いいお勉強をさせていただきました。ありがとうございます。
委員長	ありがとうございます。
委員	両親の介護をされていて、いろいろ悩んだり気に掛かったりすることがあるんですが、アンケートの結果を見てみんな同じようなことで悩んだり心配しているんだなということが分かったので、またそういうことで両親の介護に反映できるようなことが計画に入るとうれしいなと思います。これからもよろしくお願ひします。
委員長	ありがとうございます。
委員	感想ですが、高齢者の側から言いますと、これから高齢者の自立が非常に下がっていく中でやはりサービスを提供する側の体制が非常に弱くなっていくということで、今のままのかたちで進んでいくと支えるほうがしんどいのかなと。新しい方向性か何かを決めてもらえたらと思います。団塊の世代の方がまもなく75歳になられます。その方たちのマンパワーが非常に大きい中で、その方たちが80歳、90歳になった時に支えられる側というのは60歳ぐらい以降だと思うんですが、人口としては完全に逆転してしまいます。やはり今のままでいくと大変だなと思っています。
委員長	ありがとうございます。
委員	前年度から参加させていただいていますが。こういうアンケートを見るとすごく実態が分かると言いますか、やっぱり自宅で過ごしたいと思う方がすごく多いんだなということと、認知症のところで皆さん不安に思われている方が多いので、そういったところをしっかりとくみ取ってうまく対策と言いますか、対応できるようなプランができたらいいなと思いました。
委員長	ありがとうございます。

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員	今日初めて参加させていただきまして、予備知識がないままこの場にいました。今度、具体的な話が出てきた時にまた何かあればコメントさせていただきたいと思います。
委員長	ありがとうございます。
委員	<p>今日、初めて参加させていただきまして、私も医療の仕事をしているので介護の面での勉強不足を感じていますが、今後、医介連携はもちろんですが、他職種の連携と医療の現場でも介護のことを、介護の現場でも医療のことをという感じで医介がミックスというか、同時進行だと思っています。対象者は同じ人ですので、同時にやっていくという感じじゃないとばらばらだとなかなかスピード感が出ないなという印象を日々感じています。</p> <p>福祉もありますので、医療、介護、福祉、3つそろって考えていけたらいいなと思っています。皆様のご指導をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
委員長	どうもありがとうございました。では以上で本日の案件を全て終了いたしました。事務局から何かございますか。
事務局	<p>次回の日程の件について1点お伝えさせていただきます。先ほど日程調整の表を回収させていただきまして、8月3日か7日のどちらかとお伝えしましたが7日は全員ご出席いただけると記載いただきましたので、8月7日に決定させていただきます。8月7日月曜日になります。場所については、その日はこの会場が使えない日になっておりますので、ベルセンターの2階研修室のほうで開催させていただきます。お時間は今回と同じ時間を予定しています。正式に決まりましたらご通知をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p>
委員長	ではどうもありがとうございました。今日は以上とさせていただきます。
事務局	<p>以上で本日の推進委員会を終了させていただきます。長時間ありがとうございました。</p> <p>(終了)</p>